

【緑園都市】 (関東の駅百選)

駅名の由来は、1987年(昭和62年)いずみ野線開通時、新しい駅づくりを推進するために、全国から「これからの駅」と言うキャッチフレーズで募集。町名の「緑園」も駅名から。

【中丸家長屋門】 (横浜市認定歴史的建造物)

明治中期の竣工。横材(かぶ木)を二段に重ねて、部材を鳥居型に組む珍しい門構えの長屋門。

周辺は、阿久和川まほろばの川づくり: 憩いのまほろば(平成12年竣工)他に、集いの、古えの、出合いの、ふれあいのまほろば。

【阿久和川】

源流は瀬谷区三ツ境付近。戸塚区矢部町を流れ、平戸永谷川と合流し柏尾川に。延長5.44km。流域面積14km²。

阿久和: 地名研究で、新羅の古語で水を意味する「アカ」に因むともいい、また「アクリ」は「川の流れの曲がった様」を意味。

【永明寺(ようめいじ)】 (曹洞宗大本山総持寺の孫末寺)

天文11年(1542)「岡津領主 太田越前守 入道宗真」の創立とされる古刹。入道宗真は、寺伝によれば太田道灌の孫とされ、祖父道灌の菩提を供養するために、道灌を開創の祖として勧請。別院の門前には大山道道標がある。

【しらゆり公園】

泉区内最大の公園(約4ha)。一帯は、弥生式住居跡で、多くの土器が出土。中世に砦が築かれ、のろし場に、戦争中には海軍の貯蔵庫。戦後、しらゆり牧場、そして母子寮となり現在に至る。

【ふれあいの樹林】

市街地の小規模な緑地を保全・育成しながら、市民の方々にふれあいの場を提供する制度。昭和63年度スタート。山林所有者の方々のご協力により、『ふれあいの樹林』として指定した緑地は、現在、市内15カ所(約20.4ha)。泉区内、中田ふれあいの樹林(0.8ha)、鯉ヶ久保ふれあいの樹林(1.4ha)、泉の森ふれあいの樹林(1.2ha)、3カ所。

【石巻康敬の墓】 (いしまきやすたか)

石巻家は、後北条氏の評定衆や相模西郡の郡代を代々勤めた。石巻康敬は、豊臣秀吉の小田原攻め後、徳川家康に預けられて中田村に蟄居させられていましたが、文禄元年、中田村の領主となる。墓石には、「故従五位下野守石巻君墓」と刻まれている。